

欧州におけるモバイル・インターネットを活用した高度交通システム（ITS） に関する研究開発及びその環境に関する調査概要

調査の目的

モバイル・インターネット及びITSに関する研究開発の分野については、米国、日本を中心とするアジアとともに、欧州は一つの軸を成している。本報告書では、これら技術に関する欧州での取り組みを取り上げる。各要素技術の動向、標準化組織の取組状況及び欧州の様々な開発プロジェクトを詳細に紹介する。

さらに、欧州研究開発フレームワーク計画のプロジェクトなど欧州におけるITSに関する研究開発を巡る環境の実態を研究者の実経験をもとに報告し、NICTをはじめとする我が国の研究者による共同プロジェクト参加への参考としたい。

調査機関、調査方法

調査目的に係る公開情報の収集・整理のほか現地調査を効果的に行うため、これらの事務をフランスで設立されている調査機関に委託して調査を実施した。

報告書のポイント

本報告書では、ITSの開発において主導的な立場にたつ日本、欧州、米国について、それぞれの特長を分析したのち、欧州の取組みを中心に説明する。

まず、ITSの目指すビジョン、必要な無線技術、ネットワーク技術をわかりやすく解説したのち、標準化組織の概要を詳細に説明している。次に、欧州のITSのプロジェクトを個別に調査し、それぞれのプロジェクトの相互関係や合意形成過程についても詳しく解説している。

第8章では、現地のプロジェクトに参加する日本人研究者の目から見た欧州プロジェクトの実際を取材している。EUという枠組みの中であっても、言語、文化の異なる研究者が集い、切磋琢磨しながら研究活動を行っている。時に協議や駆け引きに多くの時間を費やすこともあるが、その合意形成に向けた圧倒的な意欲と能力には注目に値する。研究現場からの生き生きとしたレポートを通じ、欧州の強みと考えられる「標準化」の土壌の一端を垣間見ることができる。

2010年3月31日

NICT パリ事務所